

四月になりました。新学期のスタートです。今年は、春が遅かったのですが、東京の桜はやっと開花をはじめました。東京大学が九月入学の案をだし、論議がはじまっていますが、長年慣れ親しんだ桜吹雪のなかの入学式という季節感（ただし、それは本州の一部地域ですが）は捨てがたいものがあります。

でも、そんな情緒だけで判断してはいけないのは、経済も同じかもしれません。そんななか、今月も、ネットワークの活動の報告とこれからの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

3月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

4月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します。夏休みの経済教室のプログラムを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■大阪部会 (No.27)を開催しました。

日時：3月3日（土）18時00分～20時00分

場所：A P 梅田大阪

内容：参加者10名。篠原代表の報告のあと、その後、河原和之氏（東大阪市立縄手中学校）から、今年度公民で用いた教材「TPPって何？」が配付、説明された。次いで、丹松美代志氏（池田市教育政策課）から、教育学部学生を対象に行われたワークショップの資料「東日本大震災」を教材化しよう」が配付されました。

また、山本雅康氏（奈良学園中学校高等学校）からは、中学校3年生が卒業論文として書いた「マクドナルドの経営戦略」の文章が配付され、討議、検討がされました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka27report.pdf>

■東京部会 (No.47)開催しました。

日時：3月16日（金）18時00分～20時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室3

内容：参加者14名。夏の経済教室のスケジュールと内容がほぼ確定されました。次いで、入試問題の話題が取り上げられ、大手予備校の入試問題検討会での資料などが紹介され、経済教育の観点からの入試問題の吟味が課題として残るという報告がされました。大倉先生（千葉県立松戸向陽高校）より、社会科としての

経済と法の教育はどうあるべきかという問題提起があり、議論がされました。

高橋先生（都立桜修館中等教育学校）から、先日竹中平蔵氏に生徒たちへの講義をしてもらった際のエピソードが紹介されました。

最後に、山崎先生（北海道豊富高校）より、この2年間、筑波大学大学院教育研究科で学ぶ傍ら、東京部会のメンバーと交流できたことについて謝意が述べられ、その研究成果である修士論文『倫理的基礎付けを踏まえた経済概念学習に関する研究』の内容の簡単な紹介がありました。さらに「投票行動を機会費用で学ぶ」という教材も配布されました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo047report.pdf>

■京都部会（No.13）を開催しました。

日時：3月23日（金）18時00分～20時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

参加者9名。夏の経済教室の内容紹介、東京部会、大阪部会での教材や資料が紹介されました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto013report.pdf>

■経済教育ワークショップ宇都宮を開催しました。

とき：3月24日（土）13時30分～17時

ところ：宇都宮大学教育学部附属中学校

内容：講演「歴史から経済を読み解く」（江戸の歴史から解き明かす）

同志社大学経済学部 篠原総一

教材提案「住宅メーカー 職場シミュレーション」

東京都目黒区立目黒中央中学校 三枝利多

討論「ゲーム教材の使い方」弘前大学教育学部 猪瀬武則

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/20120324%20WS%20Utsunomiya.pdf>

■新聞にネットワークが紹介されました。

朝日新聞の「教育明日へ」のシリーズの「お金、今学ぶ」にネットワークが取り上げられました。東京版では、3月22日の第四回で東京部会の2月例会の様子や篠原代表のインタビューが掲載されました。

ほかにも、河原和之先生（東大阪市立縄手中学）の実践や、水野英雄先生（愛知教育大学）の取り組みなども紹介されています。

経済教育の必要性がだんだん認知されてきていると言えるでしょう。

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

これからの主な予定を日程順に掲載します。また、確定した夏の経済教室の内容を掲載します。

■東京部会 (No.48)を開催します

日時：2012年4月17日(木) 18時00分～20時00分

場所：日本大学7号館13階会議室3

内容、参加方法の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo048flyer.rvsd.pdf>

■大阪部会 (No.28)を開催します

日時：2012年4月28日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト(移転していますのでご注意ください)

内容、参加方法の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka28flyer.pdf>

■京都部会 (No.14)を開催します

日時：5月25日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

内容、参加方法の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto014flyer.pdf>

■札幌部会 (No.3)を開催します

日時：5月19日(土) 14時30分～16時30分

場所：北海道教育大学札幌校 サテライト教室(Sapporo55ビル)

内容、参加方法の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo003flyer.pdf>

■夏の経済教室の準備が進行しています。

5年目になる東京証券取引所との共催でおこなっている夏休み「先生のための経済教室」の準備が進行しています。現在までに決まっている日程と内容は次の通りです。

各会場、一日4コマを予定しています。

8月2日(木) 広島会場、中学の先生向け(会場未定)

「経済分野の教科書を読み解く」「指導要領の精神を授業にどう生かすか」

「実践紹介」「実践交流会」

8月3日(金) 広島会場、高等学校の先生向け(会場未定)

「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」

「大学入試問題を使って経済を教える」「経済から考える民主主義」

8月6日(月) 大阪会場、中学の先生向け(大阪国際会議場)

「経済分野の教科書を読み解く」「指導要領の精神を授業にどう生かすか」

「実践紹介」「実践交流会」

8月7日(火) 大阪会場、高等学校の先生向け(大阪国際会議場)

「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」

- 「大学入試問題を使って経済を教える」「経済から考える民主主義」  
8月8日（水）名古屋会場、中学の先生向け（ウインクあいち）  
「経済分野の教科書を読み解く」「法教育と経済教育」  
「実践紹介」「実践交流会」  
8月9日（木）名古屋会場、高等学校の先生向け（ウインクあいち）  
「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」  
「大学入試問題を使って経済を教える」「経済から考える民主主義」  
8月16日（木）東京会場、高等学校の先生向け（東京証券取引所）  
「証券金融からの経済教育」「戦後国際金融史」  
「大学入試問題を使って経済を教える」「講演：元氣と勇氣が湧いてくる経済教育（柳川範之）」  
8月17日（金）同  
「経済から考える民主主義」「国民所得の教え方」  
「講演：幸福の経済学（大竹文雄）」「国際経済の見方・教え方」  
8月20日（月）東京会場、中学の先生向け（東京証券取引所）  
「現代史と経済」「実践紹介①」「実践紹介②」  
「法教育と経済教育」  
8月21日（火）同  
「経済分野の教科書を読み解く」「効率と公正をどう教えるか」  
「実践紹介③」「実践交流会」

以上のタイトルは仮のものです。ネットワークの篠原代表が高校向けに「戦後国際金融史」を講義します。また、中川雅之先生が同じく高校向けに「経済から考える民主主義」の講義を予定しています。これは、「政治・経済」の授業では自明のものとされている民主主義のしくみを経済学ではどう読み解くかという話になる予定です。機能不全が目立つ政治を経済学の観点から読み解く講義は、新しい視点を先生方に提供することでしょう。野間敏克先生には「入試問題を使って経済を教える」の講義をお願いしています。小巻泰之先生には東京だけですが「国民所得の教え方」を講義していただく予定です。国民所得は理解するのも難しいし、教えるのはもっと難しい箇所ですが、教科書に即していかに教えるのか、専門家からの講義が期待されます。

講演では、東京大学の柳川範之先生、大阪大学の竹文雄先生を予定しています。ほかに、恒例の教科書を読み解く、指導要領の精神を生かした授業を作り方の講義を、ネットワークメンバーの大学の先生方や、現・前・元の教科調査官の先生をお願いをしています。

証券金融からの読み解く経済も恒例ですが、今年は企業の社会的責任に焦点をあてた講義になる予定です。また、様々な実践紹介や実践交流会などを予定しています。

なお、交渉中の先生方に関しては、確定し次第順次報告いたします。

内容に関するご希望などがありましたら、ネットワーク ([contact@econ-edu.net](mailto:contact@econ-edu.net))までお寄せください。

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

「明日に使いたくなる公民科授業実践」

なかなか魅力的なタイトルと内容の指導事例集です。

出したのは東京都公民科・社会科教育研究会。ネットワーク東京部会のメンバーの高橋勝也先生（都立桜修館中等教育学校）が事務局を担当されていたことがあり、ネットワークとはさまざまな連携が進んでいる団体です。この指導書、研究会の若手の先生方が、公民科の各分野で実際に生徒に実践した授業プランをまとめたものです。

24の事例が、現代社会分野、政治分野、経済分野、国際分野、まとめの5つに区分され掲載されています。そのうち、経済分野は6項目。

高橋先生は、豊かさを分け合う経済、便乗値上げ、ゲーム理論で経済を考えるの3テーマ4項目を担当されています。また、宮崎三喜男先生（都立蒲田高校）が累進課税制度、目崎昭年先生（都立浅草高校）が社会福祉の授業提案をしています。

この事例集、「明日に使える、すぐに使える」をモットーに、生徒が主体的に学べ、新学習指導要領の重要項目の一つ目玉である言語活動を充実させる授業を目指して開発されていて、ワークシートは研究会のHPからダウンロードすることができるようになっています。

市販本ではなく、研究会活動からこの種の事例集を出すケースは最近では珍しいかもしれませんが、意気を買いたいと思います。

倫理では東京都や岩手県などで、かつてこのような試みが研究会での手で行われていたことがあります。全国でも、学びつつ発信する教師集団ができるとういと思われる事例集です。

入手方法などの問い合わせは、同研究会へ。<http://www.tokoushaken.sakura.ne.jp/>

---

### 【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

---

4月は新生活のはじまり。新しい職場への異動や新しい環境には入られた方も多いと思います。編者は勤務先は変わらずですが、新年度から、「倫理」を授業で担当します。高校の場合、新学習指導要領の導入により新旧カリキュラムが混在することになり、

「政治・経済」が高校3年配当となったための措置です。「現代社会」では倫理分野を教えていましたから、内容的にはそれほど困惑はしませんが、一年通して「倫理」を担当するのは20年ぶりです。そのため、春休みの一日、仕事場の周りの本を経済から哲学関係に入れ替えました。教員になりたての時に読んだ本などが本棚の後ろから登場して、なんだか「昔の名前で出ています」という雰囲気です。とはいえ、再読もまた良しです。不易流行という言葉がありますが、時間と言うフィルターをかけられて、本物が浮かび上がるかもしれません。また、経済や経済学に対しても一定の距離を置いてみるができる好機です。一年後にどんな感想が書けるか、楽しみです。（新井）

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお  
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



---

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇